

令和5年度 第1回 伊佐見小学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和5年5月16日（火） 9時00分から11時00分まで
- 2 開催場所 伊佐見小学校 会議室
- 3 出席委員 安間 謙治、池野 浩司、市川 光自、伊代田 尚志（CSコーディネーター兼任）、
小粥 裕里、嶋野 直輝、高橋 由佳子、塚本 昌代、中村 勝信
CSコーディネーター 村上 久美子
教育委員会 牧野 知子
- 4 欠席委員 小出 英徳
- 5 学 校 芦田 康宏（校長）、米山 由紀子（教頭）、長尾 夏未（教務主任）、
澤木 美加（CS担当教諭）、間瀬 仁美（CSディレクター）
- 6 傍聴者 なし
- 7 協議事項
 - （1）会長の選出及び副会長の指名について
 - （2）議長の選出について
 - （3）伊佐見小学校運営基本方針について
 - （4）バス（遠鉄バス・伊佐見線）の利用促進について
 - （5）夢育やらまいか事業について
 - （6）ボランティアの活動計画について
- 8 会議録作成者 CSディレクター 間瀬 仁美
- 9 会議記録

会議に先立ち、研修主任の川合教諭から「伊佐見小学校の『学び』について」、いじめ対策コーディネーターの岡田教諭から「本校のいじめ防止の取り組みについて」説明があり、その後、授業参観を行った。

（1）会長及び副会長の選出について

米山教頭から、会長に市川委員を推挙する旨の提案があり、市川委員が承諾するとともに、市川委員が池野委員を副会長に指名し、委員全員異議なくこれを承認した。

（2）議長の選出について

議長には昨年度の第4回学校運営協議会で決定していたとおり池野委員が選出され、全員異議なくこれを承認した。

（3）伊佐見小学校運営基本方針について

芦田校長から、別紙資料に基づき学校運営基本方針について説明があり、委員からは、以下の発言があった。

- ・ランドデザインの「みとめあう」の道徳推進とは何か。（安間委員）

→教員の中に道徳教育推進教員がおり、道徳教育を中心となって進めていくものこと。生徒指導担当・特別活動担当・発達支援コーディネーター・養護教諭が中心となって「みとめあう」を進めていく。(学校からの回答)

- ・最近では道徳教育の機会が減っている。神話や古事記、日本書紀、ぐう話のようなものからも学ぶことができるが、本だけではなく、人と人との関わりの中で道徳心を育てていく活動が出来れば。(池野委員)

協議の結果、全員異議なくこれを承認した。

(4) バス（遠鉄バス・伊佐見線）の利用促進について

米山教頭より別紙資料に基づきバスの利用促進についての説明があり、委員からは、以下の発言があった。

- ・自治会とは連携しているのか。(中村委員)
→連携はとっている。朝早い児童のために待機場所（図工室）を設けるなど学校で出来ることをやっている。本来は今年10月に廃止だったが、学校と地域の方々と話し合っており、市と遠鉄の協力でとりあえず2年間は廃止が延期された。利用数がどれだけ見込めるかが今後の対応に関わってくる。公共の交通機関がなくなることは地域にとっても問題なので、意見を出して欲しい。(学校からの回答)
- ・高齢者の買い物、通院難民が発生している。企業、行政、我々をどううまく絡められるか。老人クラブではチームを作って動いている。バス会社、行政、自動車学校（免許更新の講習会があるので）、と連携をとりながら免許書き換えの時に加えて、このエリアくらいなら良いが駅に行くならバスにしようと思掛けする、というようなことを老人クラブでやっている。(中村委員)
- ・山の方では学校の統廃合で、スクールバスが沢山運行している。そういうことが参考になるのではないか。(安間委員)
- ・スクールバスや小型バスは参考にならない。人口が足りないし、経営面から考えると、バスを小型にしてもドライバーの人手は同じなので成り立たない。(中村委員)
- ・雨の日は古人見の児童は座れない子がいるくらいバスを使う。ゆうおおひとみの児童が乗りやすいところにバス停があればもっと増えるのではないかと。(高橋委員)
- ・ゆうおおひとみの方ばかり考えると、佐浜だけ取り残されてしまう。(塚本委員)
- ・図書館を作るときにバス停を作った。これ以上は増えないので、あとはいかに乗車人数を増やすか、ではないかと。(中村委員)
- ・この場では容易に結論が出ない。地域や学校、いろいろなところが連携して対応していくしかない。学校ができることとして、参観会の時はバスを使ってもらうのはどうか。参観会の時間をバスの時間に合わせたり、参観会の案内を出すときにバス利用を呼びかけるなど。(伊代田委員)
- ・湖西市の「コーちゃんバス」のようなコミュニティバスがあったら良いのでは。いずれみんな高齢になり、運転できなくなる。家族にも頼れない。高齢者の事故も増えている。小さくても良いからバスをなくさないようにしたい。(小粥委員)

- ・朝晩1本ずつでも子供の送迎用にスクールバスを出してもらうことはできないか。遠鉄がダメならそれ以外の業者と市に話をして。(塚本委員)
- ・バス会社は経営もあるから、こちらから提案をしていった方が良い。(中村委員)
- ・地域と連携して乗車率などの具体的な数字を算出して市に要望を出し、こういう方法があるという選択肢を示せば、あとはバス会社の採算が合うかという話になる。遠鉄がダメなら他の会社とも交渉を。予算が関わってくることなので、落とすところがうまく見つかるような提案をしていきたい。子供だけでなく交通弱者を救えるような話合いをこれからも継続していきたい。(池野委員)

(5) 夢育やらまいか事業について

米山教頭より別紙資料に基づき夢育やらまいか事業について説明があり、委員からは以下の発言があった。

- ・夢育やらまいか事業についての情報が来ていないが、夢育とCSはどのように結びついているのか。CSとは別にもう一つ会があるのか。(安間委員)
 - 夢育やらまいか事業とは、学校の特色ある活動を推進するもの。市から予算が出るので、その予算の用途について夢育の会長と話し合い、CSが関係する伊佐地川学習、読書活動、その他にも外国人指導、音楽観賞コンサートに係る費用を夢育の予算から充てることとした。伊佐地川学習に関わる別の会があるわけではない。(学校からの回答)
- ・まだ3年目のCSと伊佐地川と浜名湖を愛する会がうまく連携できていない。これから学校がどうやって連携させていくか、ではないか。(中村委員)
- ・資源物回収は続けるのか。(中村委員)
 - 継続予定。(嶋野委員)
- ・資源物回収はPTAにとって大きな財源になる。(池野委員)

(6) ボランティアの活動計画について

CS担当の澤木教諭から別紙資料に基づき、本年度のボランティアの活動計画について説明があり、村上CSコーディネーターより以下の補足があった。

- ・コロナが落ち着いてきたので、今年は去年以上に活動が進む。地域の人にも声を掛けて欲しい。
- ・駐車場がなくなった事が大きいですが、協働センターに5.6台置かせてもらえることになった。
- ・3年生が徒歩で行ける範囲で畑を貸してもらえる人がいたら教えて欲しい。
- ・協働センターの書道サークルに書道の指導を依頼できないか交渉する予定。
- ・給食ボランティアを考えている。他に意見があれば言って欲しい。
- ・保護者にはさくら連絡網を、ボランティアにはグループLINEを使って連絡していく。

米山教頭から、次回会議は、2023年7月12日(水)午前9時から会議室で開催する旨の報告があった。